

◎山田憲昭市長

令和3年度の予算編成に当たっての思いについてお答えをいたします。

私は市長就任以来、これまで対話と参加を基本とする市政運営に努め、市民の皆様並びに議員の皆様の御理解と御支援の下、11万市民の幸せを第一に考え、誠心誠意取り組んできたところであります。

中でも、市民の皆様の生の声をお聴きしたいとの思いから、全28地区で毎年まちづくり会議を開催し、拝聴いたしました貴重な御意見等を各種施策に反映させてまいりました。

これからも、皆様と共に歩むまちづくりを進めてまいりたいというふうに考えております。

予算編成に当たっては、まず喫緊の課題であります新型コロナウイルス感染症への対応として、市民の安全・安心を最優先に、ワクチン接種に係る経費及び感染拡大の不安解消等のためのPCR検査の助成費などを措置いたしましたところであります。

そして、「健康」「笑顔」「元気」の3つを柱に、将来都市像「健康で笑顔あふれる元気都市 白山」を実現すべく、新工業団地の整備をはじめ、白山総合車両所等を活用した観光・産業振興、在来線新駅の整備などの大型事業の着実な進捗を図るとともに、白山手取川ジオパークの世界認定に向けた取組や「健康都市 白山」に関連する施策、SDGsの推進、子育て・教育環境の充実、協働のまちづくりの推進、さらには防災・減災の取組などに予算を重点配分するほか、新型コロナウイルス感染症を契機とする行政のデジタル化への対応にも意を配したところであります。

こうした施策を確実に実行し、将来にわたって住んでよかったと思える「ふるさと白山市」に向け、全力で取り組んでまいり所存であります。